

みんなで作る

森ものがたい

2018年3月10日発行 第125号

油山自然観察の森
森を育てる会



〒811-1355
福岡市南区大字桧原855-1
TEL:092-871-2112
FAX:092-801-8661
<http://www.morikai.org/>
mail: aburayama@morikai.org



12/17 温かいシチューやピザを食べ、1年を振り返る納会を行いました

	表紙	1
も	活動ノート(12/9,12/17,1/21,2/11,2/25)	2~3
	特集「クヌギの生長調査」	4~5
く	特集「アカマツ林成木調査」	5~6
	情報コーナー	7
じ	リレーコラム「私が森会に入会した理由」	7
	うん・えー会報告(12/9)	8
	活動予定	8

「森を育てる会」は福岡市油山自然観察の森の保全活動を通じ、広く緑地保全活動を行う市民の育成・交流を行う事を目的とする市民グループです。活動は(公財)福岡市緑のまちづくり協会の助成を受けて行っています。会では、随時、会員を募集しています。興味がある方はメールまたは電話でご連絡下さい。

活動ノート



12月9日(土)
アカマツ林作業
11:40~15:30



◆参加者: 松雪、国広、平野(光、陽、正、結、綾)、川上、林、静間、新地、森山 計12名

◆内容: 今回の作業は12月6日の特別活動に引き続く形で、D地区遊歩道からC地区ヤードまで至る作業道の整備です。6日の作業の経験を生かして、まずは作業道ルートのご決定や階段を作る班と、階段に使う材を調達する班に分かれて作業を開始しました。作業道班は、上から下へ向かって急斜面部には階段を作り、また緩斜面部には谷側に土留め材を置いていきました。一方、材料調達班はD地区遊歩道近辺に繁茂している灌木を除伐し、階段作りに使える形に加工していきましたが、結果的にC地区からE地区へつながる開けたルートができ、今後のD・E地区での作業がやりやすくなりました。また、F地区で萌芽枝などを伐ってもらい、F地区ヤード周辺の景観もかなりすっきりしました。作業道は、D地区遊歩道からC地区ヤードまで安全かつ楽に歩くことができるようになりました。

【ふりかえりより】

・杭を作る斜め切りが大変でした。多分明日は筋肉痛です。木

を伐り倒すのも、階段作りするのも普段は無いので貴重な経験でした。(平野)

12月17日(日)
カブトムシの森作業、成木調査、納会
9:30~15:00



◆参加者: 静間、国広(信、友)、妹尾、鎌田、松雪、平野(光、陽、結、正、綾)、川上、橋本、新牛込(寛、清、雅)、吉田、富永、中嶋 計19名

◆内容: カブ森作業はC地区で草刈りをしました。クヌギ、コナラの実生に注意しながら、斜面南部分の草本、常緑樹実生、ササを刈ることから始めて、休憩を挟んで東側平地のササ、常緑広葉樹の萌芽枝、実生を刈りました。斜面南半分並びに東屋北側平地にはかなりの数のクヌギ・コナラの実生が見られるので、今後これらを保護しつつ成長を見守っていきたいと思います。散策路に積もっていた落葉は東屋北にまとめて虫などの棲家となることを期待しました。一方、アカマツ林成木調査は、A~C地区のアカマツ林の胸高直径3cm以上の成木の胸高直径の測定と、樹勢の判定を行い、調査票に記録する作業を行いました。A地区は直径の大きな木が多く二人がかりでメジャーを木の幹に巻きつけながら直径を計りました。

計測値を見ると全体的に昨年度より胸高直径が1センチ程度伸びているようでした。納会班については、パン工房ラ・ムーナにピザとパンを早朝から作ってもらい、それに合わせ、クリームシチューと油山でとれたシイタケとエノキのホイール焼きを準備しました。子どもたちにマッチの使い方や薪の燃やし方を教えて火を熾しましたが、薪をいれたりして火の調節を楽しんでいました。作業からみんなが戻り納会を始めました。鎌田代表の挨拶ではじまり、みんなで温かい食事を食べることができました。最後に一人一言、今年の振り返りと来年への抱負を語って、集合写真を撮って、納会を無事終了しました。

【ふりかえりより】

・今年はシチューやパンなど、大変おいしく頂きました。子供達も楽しくお手伝いできて、良かったです。(新牛込寛子)

1月21日(日)
カブトムシの森作業
9:30~15:45



◆参加者: 静間、橋本、国広、林、川上、松雪、鎌田、平野(光、陽、正、結、綾)、木下(見学) 計13名

◆内容: B地区の作業は橋本さん以下10名で、遊歩道西側斜面のササ、常緑広葉樹の萌芽

枝・実生、遊歩道東側斜面の常緑広葉樹萌芽枝・実生、ウラジロ、川右岸平地の常緑広葉樹萌芽枝・実生を刈りました。急な斜面だったにも拘らず、ほぼ完全に除去することが出来ました。C地区での除伐は松雪さん以下3名で、そろそろ高圧線に届くほどになってきたスギを狙い通りに伐倒しました。午後材処理を終え、更にコリノキの伐倒に取り組みましたが、危惧されていた掛かり木となってしまう、チルホールを使って引き落としました。こちらの玉切りは後日の特別活動に回しました。平野家のお子さんたちが伐倒したスギの上部の材を使ってB地区の川に懸っていた橋の強化作業に取り組み、渡りやすい橋になりました。B地区遊歩道の落葉掻きをしたので、やっとA-Cの全ての遊歩道の落葉が除去され、入園者が安全に通れるようになりました。昼食時、林さんからぜんざいの振る舞いがあり、皆さん美味しく頂いていました。どうも有り難うございました。

【ふりかえりより】

・スギの伐倒は簡単だったが、さすがに偏心したコリノキはうまく行かなかった。やはり「重心」は強いです。(松雪)

2月11日(日)

シイタケ駒打ち体験

9:30~16:00



◆参加者：国広、橋本、林、静間、鎌田、平野(光、陽、正、結、綾)、中嶋、松雪 計12名

◆内容：毎年恒例のシイタケ駒打ち体験行事です。本日は、一般参

加者6組18名の参加があり、初めにレクチャールームでオリエンテーションをしました。里山のことや森会のことをお話した後、アイスブレイクにネイチャーゲーム「はじめまして」を行いました。センター下で育てていたシイタケの収穫体験を行った後、カブ森へ行きました。あずま屋でカブトムシの森の説明を行い、ノコギリ体験班と生きもの観察班に分かれてカブ森を楽しみました。ノコギリ体験では、子供たちから「木の真ん中が固くてたいへんだった」といった感想が聞かれました。辺材と心材の手ごたえの違いを感じてくれたようでした。生きもの観察では、天然シイタケやカワラヒワを観察することができました。午後はキャンプ場交歓広場へ移動して参加者に火起こしをしてもらいました。焚き付けと薪の中間の枝が少なく、火を安定させるのに苦労しましたが、参加者はウィンナーやシシヤモ、モチなど、思い思いの食材を焼いて楽しんでいました。昼食後はシイタケの駒打ちの説明を行った後、3班に分かれ約30本の楢木に駒打ちをしました。ドリルで穴あけをして駒菌をトンカチで打ち込み車に積み込む作業を一生懸命する子もいれば、ふらっとたき火で遊んで気が向いたら駒打ちするような子もおり、ゆるやかな時間を過ごすことができました。最後に平野さんに森会アピールをしてもらい行事を終了しました。

【ふりかえりより】

・ノコギリで木を切ること、穴をあけること、色々な道具を使って力を合わせて作業できたことは楽しい体験でした。

2月25日(日)

カブトムシの森作業

9:30~15:30

◆参加者：鎌田、静間、林、国広、榎、松雪、橋本、新牛込(誠、寛、清、雅)、鈴木隆史 計12名



◆内容：今回の活動日は、集合時間になった頃、雨が強くなったので急きょ木工をすることになりました。雨天バージョンは、クレヨンを使った色鉛筆と笛づくりです。ミーティング後、アカマツ林のヤードから2cm程度の手ごろな枝を調達。まずはクレヨンから製作。色鉛筆の作り方は芯となるクレヨンを入れる縦穴を空け、先を削り、クレヨンを入れて作りました。続いて、笛は、枝に縦穴を開けて横に吹き口を開けました。そしてヤスリで吹き口の角を取り作りました。早くできた人がいたので竹で尺八もどきを作ってもらいました。色鉛筆は出来栄が良く満足していただけました。しかし、笛を吹くのは、難しかったようです。尺八もどきを作った国広さんは縦笛のごとくきれいな音階を聞かせてくれました。次回の活動日にでも一曲聞かせていただきたいと思います。今回の木工は穴開けが難しいかなと思っていましたが皆失敗することなく鉛筆と笛ができました。肥後の守で鉛筆を尖らせるのに戸惑っていましたが最後は鉛筆らしい形にできました。今後とも雨の日が楽しみになるような木工も目指していますので雨の日もご参加ください。

【ふりかえりより】

・初めて尺八と色鉛筆を作りました。不器用なためいびつなものが出来上がりました。しかし、良い体験となりました。(鈴木)

特集「クヌギ生長調査」

鎌田 隆

毎年、カブトムシの森・観察小屋近くの旧A・Bコードラート（それぞれ10m×10m）で、クヌギの周囲長（幹周り）と樹冠幅（樹木の枝幅の広がり）を計測しています。周囲長は、地面から高さ1m20cmで巻尺を使って計測を行っています。樹冠幅は、メジャーを使って幹から東西南北4方向のそれぞれの枝葉の先端までの長さを計測しています。今年度は当初の予定では12月に行う予定でしたが私の都合が合わず、年を越し、2月に実施することとなりました。本号では、その調査結果を報告します。

【今回の計測結果】

日時：2018年2月10日（土）

概要：周囲長と樹冠幅の計測を行いました。

昨年、A-17番が伐採され、各調査区の調査対象木は5本づつとなりました。

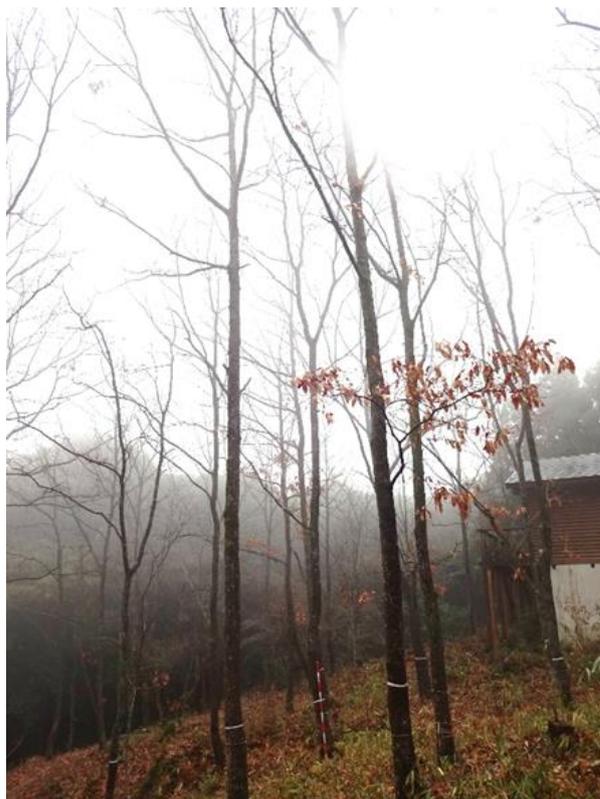
○調査結果

No.	周囲長 (cm)		樹冠幅 (m)			
	去年	今年	北	東	南	西
A2	76.5	78.0	3.2	2.9	2.3	2.4
A4	47.5	47.0	3.0	3.3	1.5	1.0
A10	82.5	84.0	3.8	3.0	2.7	2.0
A11	63.5	64.0	2.2	3.8	2.7	1.6
A14	67.0	67.0	2.4	2.0	2.3	0.8
A17	49.5	伐採				
B5	86.0	87.0	5.0	3.3	1.3	1.5
B9	100.0	103.0	4.0	6.0	5.8	1.3
B11	59.0	59.0	3.3	1.8	1.6	1.8
B15	65.5	66.0	4.0	3.8	1.1	4.0
B21	77.0	79.0	2.9	2.5	4.0	1.8
A平均*	64.4	68.0				
B平均*	77.5	78.8				

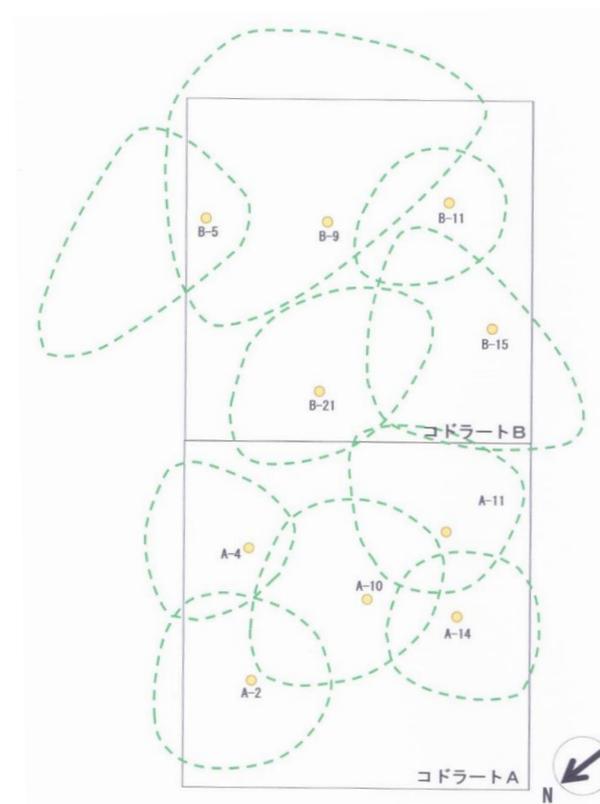
○樹冠の様子



○樹高は概ね15m



○今回の調査に基づいて作成した樹冠投影図



○昨年伐採した A-17 番



この切株の年輪を数えてみると 27 本の年輪が読み取れます。カブトムシの森に植えられてから 22 年、年輪の幅も外側に向かって徐々に狭くなっています。1995 年、森会が活動を始めた年から始まった成長調査、当時は一年に 20～30% のスピードで成長するものもあり、測定するのも楽しかったと思います。

昨年と今回の幹の周囲長を比べると 1～3% の成長率で成長スピードはとても緩やかになってきています。

現在の成長スピードを見ると測定値に変化が現れるかどうかの微妙な数値となっており、毎年の計測ではなく、5 年毎に計測に変えても良いと思われま

す。「カブトムシの森の 5 ヶ年計画」では、クヌギは萌芽更新することとなっており、過去に伐採した木も萌芽枝を保護するようにしています。また、コドラートが位置する A 地区は、「クヌギの大径木を育てる」としており、地区内で数本伐採せずにシンボルとなるような木に育てる計画です。

コドラートの中の木も生き物が集まるシンボルツリーの 1 本として残して行きたいと思ひます。



アカマツ林成木調査



(アカマツ林調査世話役 中嶋)

本調査は、アカマツ成木の生育状況やマツ枯れ被害等を把握して、今後の整備計画や作業に役立てるため、毎年 A 地区から F 地区の全地区の成木（胸高直径 3 cm 以上）を対象に行っているもので、各個体の胸高直径と樹勢の記録を行っています。

【調査日】2017/12/17 (A～C 地区) PM
2018/01/28 (D～F 地区) AM

【調査結果】詳細は次ページの表のとおりです。調査開始した H26 年度からのデータを記載しています。(成長率と樹勢は H27 年度以降を記載)

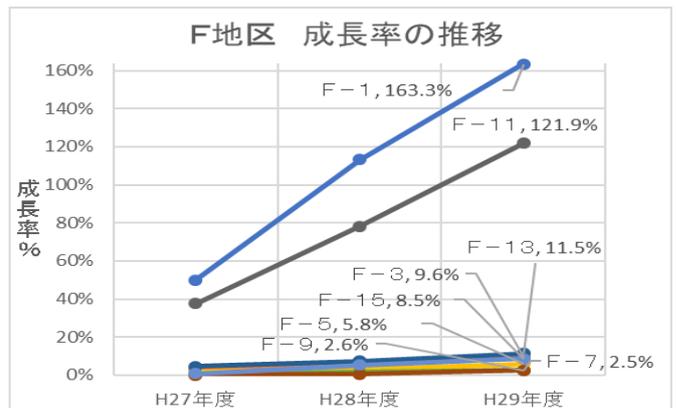
次の表 1 は、地区別の胸高直径の区別構成割合を示しています。A～C 地区は直径 40 cm 以上の大径木が中心で、E・F 地区では小径木から大径木まで幅広い構成となっていることがわかります。

なお、F 地区の 10 cm 未満の 5 本の内 3 本は幼木から成長し、新たに成木調査対象となりました。

表 1 胸高直径の区別構成割合 (本)

	小径木		中径木		大径木		計
	D<10cm	10≤D<20cm	20≤D<30cm	30≤D<40cm	40≤D<50cm	50cm≤D	
A地区	-	3 (11%)	4 (15%)	2 (7%)	12 (44%)	6 (22%)	27
B地区	-	-	-	1 (14%)	2 (29%)	4 (57%)	7
C地区	-	-	-	3 (38%)	5 (63%)	-	8
D地区	1 (17%)	-	2 (33%)	1 (17%)	2 (33%)	-	6
E地区	2 (25%)	2 (25%)	2 (25%)	1 (13%)	1 (13%)	-	8
F地区	5 (31%)	4 (25%)	2 (13%)	2 (13%)	2 (13%)	1 (6%)	16
合計	8 (11%)	9 (13%)	10 (14%)	10 (14%)	24 (33%)	11 (15%)	72

また、下のグラフは、F 地区から抽出した個体の成長率〔直径 D の増分 ÷ 初期 D〕の推移を表しており、小径木の若木ほど勢い良く成長していることがわかります。



今後は、次世代を担う成木がない B・C 地区の幼木育成にも目を向けていく必要がありそうです。

■H26年度～H29年度調査結果一覧表

調査項目		胸高直径(D)				成長率			樹勢			
地区	樹木No	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H27年度	H28年度	H29年度	H27年度	H28年度	H29年度	
A地区	A-1	21.8	22.7	23.8	25.1	4.1%	9.2%	15.1%	1	1	1	
	A-2	43.6	44.4	44.4	45.4	1.8%	1.8%	4.1%	0	0	1	
	A-3	24.8	24.9	25.3	25.7	0.4%	2.0%	3.6%	0	0	1	
	A-4	36.6	37.6	38.1	39.0	2.7%	4.1%	6.6%	0	0	0	
	A-5	43.3	44.0	43.7	44.1	1.6%	0.9%	1.8%	0	0	0	
	A-6	61.3	61.6	61.8	63.2	0.5%	0.8%	3.1%	0	0	0	
	A-7	52.5	53.2	54.0	55.6	1.3%	2.9%	5.9%	0	0	0	
	A-8	49.4	49.7	49.2	49.3	0.6%	-0.4%	-0.2%	2	2	3	
	A-9	51.4	52.0	52.4	53.1	1.2%	1.9%	3.3%	2	2	2	
	A-10	60.5	61.3	63.0	63.6	1.3%	4.1%	5.1%	0	0	0	
	A-11	40.0	41.1	41.5	42.2	2.8%	3.8%	5.5%	0	0	0	
	A-12	51.7	52.7	53.5	54.5	1.9%	3.5%	5.4%	0	0	0	
	A-13	52.7	53.5	54.6	55.5	1.5%	3.6%	5.3%	1	1	1	
	A-14	41.2	42.0	42.4	42.9	1.9%	2.9%	4.1%	2	2	2	
	A-15	47.1	47.4	48.9	49.5	0.6%	3.8%	5.1%	1	1	1	
	A-16	10.3	11.0	11.1	11.8	6.8%	7.8%	14.6%	3	3	2	
	A-17	41.7	43.1	44.0	45.1	3.4%	5.5%	8.2%	1	1	2	
	A-18	15.2	15.3	15.5	15.8	0.7%	2.0%	3.9%	2	2	2	
	A-19	17.0	17.8	18.9	20.1	4.7%	11.2%	18.2%	2	2	2	
	A-20	37.6	38.5	39.5	40.7	2.4%	5.1%	8.2%	1	1	0	
	A-21	伐採										
	A-22	14.4	14.9	15.2	15.9	3.5%	5.6%	10.4%	2	2	2	
	A-23	46.7	47.3	47.2	48.0	1.3%	1.1%	2.8%	0	0	0	
	A-24	39.3	40.2	41.1	41.7	2.3%	4.6%	6.1%	1	1	1	
	A-25	伐採										
A-26	31.2	31.8	32.3	33.1	1.9%	3.5%	6.1%	2	2	2		
A-27	46.7	47.8	48.5	49.4	2.4%	3.9%	5.8%	2	2	1		
A-28	37.4	38.8	39.9	41.1	3.7%	6.7%	9.9%	1	1	1		
A-29	19.4	19.7	20.2	21.0	1.5%	4.1%	8.2%	2	2	2		
B地区	B-1	58.1	59.0	59.8	60.3	1.5%	2.9%	3.8%	1	1	0	
	B-2	52.3	53.0	53.6	54.1	1.3%	2.5%	3.4%	1	1	1	
	B-3	54.8	55.1	55.5	56.4	0.5%	1.3%	2.9%	2	2	2	
	B-4	37.8	38.4	39.2	39.7	1.6%	3.7%	5.0%	1	1	1	
	B-5	50.1	50.5	51.6	52.4	0.8%	3.0%	4.6%	0	0	0	
	B-6	46.2	46.2	伐採		0.0%	伐採		4	伐採		
	B-7	37.6	38.6	39.2	40.2	2.7%	4.3%	6.9%	1	1	1	
	B-8	38.1	39.3	40.8	42.2	3.1%	7.1%	10.8%	1	1	1	
C地区	C-1	43.5	44.7	45.8	47.0	2.8%	5.3%	8.0%	0	1	1	
	C-2	46.9	47.7	48.1	49.5	1.7%	2.6%	5.5%	0	0	0	
	C-3	32.5	33.4	34.0	34.7	2.8%	4.6%	6.8%	0	0	0	
	C-4	42.7	43.3	44.0	45.0	1.4%	3.0%	5.4%	0	0	0	
	C-5	44.7	45.7	46.7	47.4	2.2%	4.5%	6.0%	0	0	0	
	C-6	45.3	46.0	46.5	47.3	1.5%	2.6%	4.4%	1	1	0	
	C-7	36.1	36.4	36.9	37.6	0.8%	2.2%	4.2%	1	1	1	
	C-8	49.4	50.3	49.6	伐採	1.8%	0.4%	伐採	1	4	伐採	
	C-9	31.5	31.8	32.0	32.6	1.0%	1.6%	3.5%	2	2	2	
	C-10	伐採										
D地区	D-1	34.5	34.8	35.4	36.5	0.9%	2.6%	5.8%	2	2	2	
	D-2	23.4	23.8	24.4	24.8	1.7%	4.3%	6.0%	2	2	2	
	D-3	41.1	42.0	42.6	43.6	2.2%	3.6%	6.1%	1	1	1	
	D-4	20.7	20.7	21.0	21.2	0.0%	1.4%	2.4%	3	3	2	
	D-5	9.7	伐採									
	D-6	28.6	伐採									
	D-7	44.4	45.3	45.9	46.7	2.0%	3.4%	5.2%	1	1	1	
	D-8			3.7	4.7			27.0%	1	1	1	
E地区	E-1	47.8	47.9	48.7	49.8	0.2%	1.9%	4.2%	1	1	1	
	E-2	25.7	26.1	26.4	27.0	1.6%	2.7%	5.1%	2	2	2	
	E-3	21.1	21.9	22.7	23.7	3.8%	7.6%	12.3%	1	1	2	
	E-4	11.6	11.9	12.0	12.5	2.6%	3.4%	7.8%	3	3	3	
	E-5	6.6	6.7	6.7	6.8	1.5%	1.5%	3.0%	3	3	3	
	E-6	16.6	16.9	17.2	17.6	1.8%	3.6%	6.0%	2	2	2	
	E-7	32.0	32.5	32.9	33.6	1.6%	2.8%	5.0%	1	1	1	
	E-8	伐採										
	E-9	6.7	6.8	7.1	7.4	1.5%	6.0%	10.4%	3	3	3	
F地区	F-1	3.0	4.5	6.4	7.9	50.0%	113.3%	163.3%	1	1	1	
	F-2	11.2	11.7	伐採		4.5%	伐採		2	伐採		
	F-3	26.0	26.8	27.5	28.5	3.1%	5.8%	9.6%	1	1	1	
	F-4	17.0	17.4	17.8	18.5	2.4%	4.7%	8.8%	2	2	2	
	F-5	38.2	38.8	39.4	40.4	1.6%	3.1%	5.8%	1	1	1	
	F-6	14.3	14.5	14.7	15.3	1.4%	2.8%	7.0%	2	2	2	
	F-7	51.7	52.0	52.6	53.0	0.6%	1.7%	2.5%	1	1	1	
	F-8	24.0	25.4	25.8	26.4	5.8%	7.5%	10.0%	3	3	2	
	F-9	30.2	30.2	30.4	31.0	0.0%	0.7%	2.6%	1	1	1	
	F-10	4.2	5.0	5.8	伐採	19.0%	38.1%	伐採	1	1	伐採	
	F-11	3.2	4.4	5.7	7.1	37.5%	78.1%	121.9%	1	1	1	
	F-12	32.5	33.0	33.4	34.3	1.5%	2.8%	5.5%	2	2	2	
	F-13	17.4	18.2	18.7	19.4	4.6%	7.5%	11.5%	2	2	2	
	F-14	38.2	38.7	38.9	40.1	1.3%	1.8%	5.0%	3	3	2	
	F-15	12.9	13.0	13.6	14.0	0.8%	5.4%	8.5%	3	3	3	
	F-16	21.6	21.8	伐採		0.9%	伐採		3	伐採		
	F-25				3.1						0	
F-26				4.0						0		
F-27				4.0						0		

※胸高直径は樹高1.3m位置(ク位置)で0.1cm単位で計測

***新規追加個体(幼木→成木)

区分	樹勢の評価基準
0	旺盛な生育状態を示し、被害が全く見られない
1	いくぶん被害の影響を受けているが、あまり目立たない
2	明らかに異常が認められる
3	生育状態が劣悪で回復の見込みがない
4	枯死

情報コーナー

■「春のお花畑かんさつハイキング」

内容：春の花々を楽しみながら散策します
日時：4月8日（日）10:30～13:00
費用：200円/人 対象：どなたでも（定員50人）
申込：ホームページ・往復はがき 3/16 必着

■「森でバードウォッチング～オオルリを探そう～」

内容：オオルリなどの野鳥を探しながら散策します
日時：4月29日（日）9:30～13:00
費用：200円/人 対象：どなたでも（定員40人）
申込：ホームページ・往復はがき 4/6 必着

■「森の新しい命かんさつハイキング」

内容：春に生まれた生きものなどを観察します
日時：5月13日（日）10:30～13:00
費用：200円/人 対象：どなたでも（定員50人）
申込：ホームページ・往復はがき 4/20 必着

■「森の草木染め体験」

内容：油山の植物を使いハンカチに模様をつけます
日時：6月3日（日）10:30～14:00
費用：200円/人+300円/材料セット
対象：小学生以上（定員20人）
申込：ホームページ・往復はがき 5/11 必着

■「おとな自然講座～ヘビとトカゲ編～」

内容：ヘビとトカゲの違いを学びます（座学のみ）
日時：6月17日（日）13:00～15:00
費用：200円/人 対象：中学生以上（定員30人）
申込：ホームページ・往復はがき 5/25 必着

■「おとな自然講座～シギ・チドリ編～」

内容：干潟の野鳥について学びます（座学のみ）
日時：6月23日（土）13:00～15:00
費用：200円/人 対象：中学生以上（定員30人）
申込：ホームページ・往復はがき 6/1 必着

★申込み方法

①油山市民の森・自然観察の森ホームページの行事申込みメールフォームに必要事項を入力して送信してください。

②往復はがきに「行事名・実施日・参加者全員の氏名と年齢・代表者の住所と電話番号」を明記のうえ油山自然観察センターまでお送りください。

★お問合せ：油山自然観察センター

〒811-1355 福岡市南区大字松原 855-1

電話 092-871-2112

HP <http://www.shimi-mori.com>

リレーコラム

～私が森会に入会した理由～

織田 一也

私は2016年5月に食品メーカーを定年退職し、翌月には森会に入会しました。40年勤めていた会社の基本理念の1つが「工場で使用する量以上の地下天然水を森で育む」というものでした。全国の工場で使用する天然水を涵養する為に、現在では約9000haの森を大学の教授ほか40名の専門家の指導を受けながら管理しています。

私の最後の仕事がかつこの事業でした。それまで殆ど営業畑だった私にとってはまさに目から鱗の業務内容でした。「水源涵養力の高い」「生物多様性に富んだ」「洪水土砂災害に強い」森づくりを目指して、各地区の森林組合の方々の協力で現在日本の森が抱えている森の課題を少しずつ解決してゆく業務でした。

その① 人工林の整備：手入れが遅れ暗くなった林床を明るくし植生の回復を目指して、間伐・枝打ち・材の搬出を行う。またその為に必要な自然にやさしい作業道の整備をしています。

その② 獣害対策：九州では猪による被害が大きいですが、本州では鹿の食害が非常に問題になっています。多くの森では鹿が草本、コナラなどの実生苗などをすべて食べ尽くし最後には鹿の背の高さまで林床にはなにも無い状態になり保水力のない森になってしまっています。その対策として一部だけでも保護するために植生保護柵を設置しています。



（保護柵の内外でこれだけの違いがでます。）

その③ 天然林の管理：手入れがされなくなって、林内が真っ暗になり広葉樹の苗木が育たない場所があります。そういう所では背の高い木を間伐して地面まで光を届けさせる施業をします。

こうした業務を3年間する事により、森の大切さ・森林管理の重要性を痛感しました。そして何より汗をかいた後、緑に囲まれた林内で食べる弁当の美味しさを知りました。これからも暑い昼食を楽しみに森会活動に参加したいと思います。

うん・え一会報告

2017年12月9日(土) 9:30-12:00

司会: 林

出席: 静間、川上、国広、新地、森山

平野一家5名、松雪 計12名

1. 役割決定、資料確認
2. 9~12月活動報告
3. 9~12月特別活動報告
12/6(水) アカマツ林・材処理、作業道整備
→安心して歩ける作業道が完成
4. 12~3月活動予定
5. 12~3月対外支援活動予定
 - ◆12/16(土) 佐賀県みんなの森プロジェクト→森会の活動フィールドを視察
 - ◆1/12(金) 柏陵高校環境科学コース・油山自然観察研修→カブ森作業 (参加者40人)
 - ◆1/20(土) 三菱電機 冬行事
→アカマツ林落ち葉掻き (参加者30人)
6. その他
 - ① 世話役活動の振り返り提出依頼
→事務局より原稿をメールにて送付する。
 - ② 「グリーンウッドワーク*」について
*森から生木を伐りだし、道具で加工して小物や家具等を作る木工の事
→森会としては実施せず、センター行事として開催の場合に協力することとする。
 - ③ 「くるくる便り」(ふくおか環境財団発行) 配布
→過日、当会の活動について、視察&質問いただいた内容が記事になっています。
 - ④ 会報のメール配布の検討について
→従来通り「紙」での送付先一国、県、市の関係機関
→「紙」か「メール」を選択
会員-2018年度の会費振り込み時に選択部
外講師一個別に確認
 - ⑤ 年度途中の入会者の会費減額について
→2018年3月の年度末うん・え一会に諮る
7. 発送作業
 - ① 会報第124号
 - ② 「くるくる便り」



活動予定 (2018年3月)

- ★〈作業〉〈調査〉〈観察〉は小雨決行
〈うん・え一会〉〈勉強会〉は雨天決行
集合9:30、解散15:30
- ★荒天の場合はセンターまでお問い合わせください。
- ★活動内容は、当日の参加人数、天候等によって変更になる場合があります。
- ★〈作業〉の標記のある日の服装は「森会スタイル」(長袖、長ズボンで安全に作業ができる動きやすい服装)でご参加ください。必要な持ち物はいぼ付軍手・帽子・タオル・弁当・飲物・おやつ筆記用具の他、必要に応じて着替え・雨具をご持参ください。



3月25日(日) アカマツ林作業

植生遷移防止及び実生幼木生育増進のため C・D・F 地区で広葉樹の除伐を行います。

会員登録更新手続きのご案内

更新手続きは、3/23(金) 締切りです。
お忘れになりませんように!!



- ◆4月~6月の活動予定は今後、HP
(<http://www.morikai.org/>) でお知らせします。

油山自然観察の森 森を育てる会
会報『森ものがたり』 季刊発行
編集担当: 川上寛、国広信幸、鎌田隆、静間純、
松雪清人 印刷担当: 山川昇一
